

MGN - 3のインビトロにおける抗HIV活性

M. ゴーナム

DREW医科大学、ロサンゼルス、カリフォルニア

目的:

HIV誘導融合細胞形成(SF, Syncytia Formation)に対するインビトロでのMGN - 3の効果を検討する。

MGN - 3は、糸状菌類の菌糸抽出物を用い、米糠を酵素的に処理したアラビノキシランである。

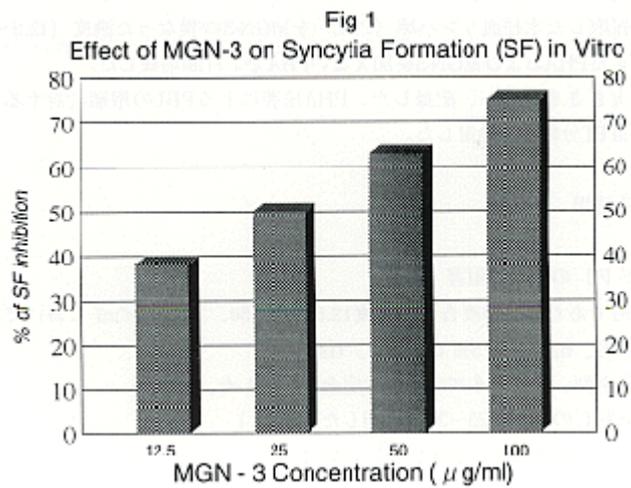
方法:

エイズ患者の末梢血リンパ球(PBL)を7日間PHAで培養した。その際、濃度の異なるMGN - 3(12.5 - 100 µg/ml)を用いたものと、用いないものを比較した。融合細胞の数と大きさを評価し記録した。PHA培養によるPBLの増殖に対するMGN - 3の影響をMTT分析法で検討した。

結果:

MGN - 3による処置の結果は

- 1) 有意なSF抑制
- 2) 効果は用量依存、SF抑止の割合は濃度12.5、25、100 µg/ml に対し各38.5、50、62.5、75%である。(Fig1)

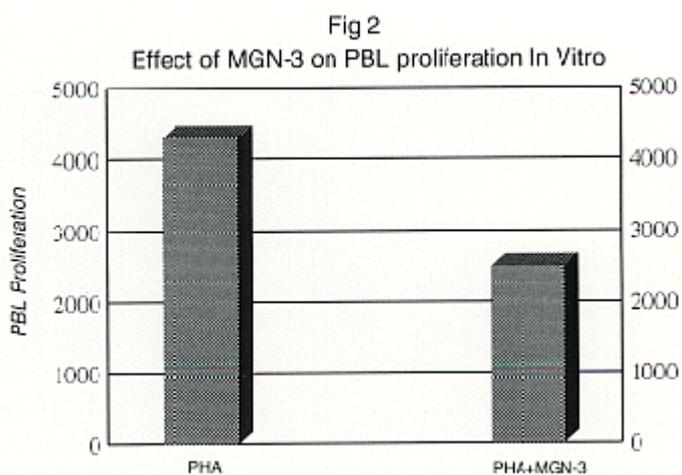


3) 処置後、中型、大型サイズのSFは完全に消失した。(Table1)

Table 1
Effect of MGN-3 on size of Syncytia formation (SF)

MGN-3 Concentration (μg/ml)	Size of SF.		
	Small	Medium	Large
0	+	+	+
12.5	+	+	+
25	+	+	±
50	+	±	-
100	+	-	-

4) MGN - 3はPBLの増殖を25 - 30%抑制した。(Fig2)



結論:

MGN - 3は、HIVによる融合細胞形成抑制に対し有効な影響を持つ天然物質であると結論する。このMGN - 3の特性は、HIV感染に対する治療に有効な価値を持つと思われる。

大和薬品株式会社の協力を得て研究をおこなった。